

道徳

第5学年

呉市立広南小学校

指導者 T1 木下 真弥

T2 山崎 聖子

主題名

困った人の身になって

教材名

くずれ落ちた だんボール箱 (東京書籍)

内容項目

B-7 『 親切・思いやり 』

本単元で育成する資質・能力

思考・表現

協力・協働

1 令和5年6月21日(水) 第6校時

2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、困っている友達を見つけると、進んで手を差し伸べたり、係活動を手伝ったりする姿が見られる。しかし、自分に好意的であったり、仲間意識が強かったりするなど、相手を選んだり、外的な報酬(褒められるため)を求めたりする傾向も伺える。

事前のアンケートでは、「人に親切にしていますか」という質問に対して、12人の児童(ととも:4人, まあまあ:8人)が肯定的な評価を行う中、2人の児童(あまり:1人, 全く:1人)が否定的な評価であった。また、「親切」についての捉えでは、「友達をつくるため」「優しくすること」「相手のために、人が嬉しくなること」「困っている人を助けること」等の回答があった。言葉としての理解はあるものの、「誰に対しても」「相手の立場に立って」という点では、理解と行動の一致が難しいように感じる。

- 本主題は、5学年の指導内容B-(7)「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること」をもとに設定したものである。この段階においては、自他を客観的にとらえることができるようになってくるため、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像できるようになる。また、家の周囲や学校といった狭い範囲だけでなく、地域社会における公共の場所など活動範囲がより一層広がり、より多様な人々と接する機会が多くなってくる。人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、相手の立場に立って、自分自身が相手にどのように接し対処するべきか考えることが重要である。

親切とは本来、相手を選んだり、外的な報酬のためにしたりするものではなく、だれであろうと、目の前にいる相手のことを考え、相手のために行動することである。困っている人を目の前にした時、自然と湧き出る思いやりの心とそれに伴う親切な行動の良さや、親切な行為は、双方の当事者だけでなく、周りをも温かくし、嬉しくなる行為であるということにも気付かせたい。相手の立場や気持ちを真剣になって考え、より深い思いやりの心をもって親切な行動ができるような児童を育て、温かい心や行為が広がる学級づくりを目指していきたいと考える。

- 本教材は、おばあさんの孫が、店の段ボール箱の山を崩してしまい、困っているおばあさんの代わりに主人公である「わたし」と友人の友子が進んで整理をするが、事情を知らない店の人に叱られてしまうという話である。

指導に当たっては、導入で、問題場面を想起させ、「困っている人を見かけたらどうするのか」について当事者としての意識を持たせながら本時のめあてにつなげていく。

展開前段では、おばあさんの代わりに一つ一つ丁寧に段ボール箱を積み上げた「わたし」の気持ちを捉えさせることで、「困っているおばあさんのために」と行動する純粋な気持ちに共感させる。その後、「いいえ、いいんです…」と立ち去るわたしの心情を考えることを通して、親切な行為が否定されてやりきれないと思う児童の気持ちに共感しながらも、認めてもらえないと自分のやったことが間違いだったと思ってしまう心の弱さに気付かせたい。その際、主人公の葛藤を自分事として捉えて自分なりの考えを持てるように、二択選択場面を設定し、タブレットを用いて友達と考えを交流する。

交流を通して、友達の考えへの疑問や納得を深め、自分の考えを再構築できるようにする。

中心発問は、校長先生の話聞いたわたしの気持ちを問うことで、認められる喜びとともに相手の立場に立って、誰に対しても温かく接することの大切さに気付かせ、親切にしようとする心情を育てるといふ本時のねらいに迫っていく。また、校長先生の思いに触れることで、「相手を思って行動すること」は、周りの人の心も温かくなり、嬉しくなる。当事者だけではなく、第三者の心も温かくなり、嬉しくなる行為であることに気付かせたい。

展開後段では、日々の行動を教師が価値づけし、「親切」な行動を生活場面と結び付けていく。終末の振り返りでは、本時の授業や自分の生活をしっかり見つけ、これからの親切の連鎖が、学級においても気持ちよく、温かくなる行動であることにも気付かせ、生活につなげていきたい。

3 他の教育活動との関連

事前指導	○国語科「だいじょうぶ だいじょうぶ」 「ぼく」とおじいちゃんの日々の過ごし方や、関係の深め方を学習することを通して、相手を思いやる気持ちや声のかけ方、支え合うこのとの大切さを感じる。 ○学校行事「春の遠足」「運動会」「新体力テスト」 ペア学年である2年生との関わりを通して、下級生を気遣い、行動する大変さや大切さを感じる。
道徳科	○「くずれ落ちたダンボール箱」 親切にしたのに叱られてモヤモヤしていたわたしの気持ちに共感させたり、校長先生の話聞いたわたしの気持ちを考えたりすることを通して、親切とは何か考え、相手の立場に立ち、進んで親切にしようとする心情を育てる。
事後指導	○児童会活動「いじめ撲滅キャンペーン」 挨拶をしたり、声をかけ合ったりすることを通して、相手に対する思いやりの心を持って接しようとする。

4 本時の学習

(1) 本時の目標

親切にしたのに叱られてモヤモヤしていたわたしの気持ちに共感させたり，校長先生の話の聞いたわたしの気持ちを考えたりすることを通して，親切とは何か考え，相手の立場に立ち，進んで親切にしようとする心情を育てる。

(2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点(・) (☆評価の観点)
導入 (3分) 課題意識を持つ	1 課題意識を持つ。 ○場面絵を提示し，困っている人を目の前にしたときの気持ちを考える。	○こんな時，みんなはどう行動しますか。 ・大変そうだから，助ける。 ・困っているから声をかける。 ・困っているのは分かるけど，知らない人だから迷う。 ・自分がしなくてもいいかなと思うから助けない。 ・助けてほしい気持ちがあるけど，恥ずかしい。	・誰もが迷うときがある。そこに目を向けさせて当事者としての意識を強く持てるようにする。 ・こんな時に人を助ける行動が「親切」であることを確認し，事前アンケートの意識調査に触れ，本時のねらいに対する意欲付けを行う。
		「親切」とは何か，もっと考えよう。	
展開前段 (27分) 学びを深める	2 教材「くずれ落ちただんボール箱」を読んで話し合う。 (タブレット端末使用) 個人思考 ↓ グループトーク ↓ 全体交流	○おばあさんの代わりに一つ一つ丁寧に段ボールを積み上げた「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。 ・どうして誰も手伝わないのだろう。 ・おばあさんとあの子大丈夫だったかな。 ・いいことしたなあ。 ・喜んでくれてよかったな。 ・大変だけど，おばあさんの役に立ってよかったな。 ○「いいえ，いいんです…。」と言って立ち去った「わたし」は，どっち(「やらなければ良かった」「やって良かった」)の気持ちだったでしょう。 青色「やらなければ良かった」 ・悔しい。腹が立つ。 ・なんで怒られないといけないのか。 ・自分が崩したように見られるのは嫌だ。 ・倒したのは私じゃない。 ・せっかく手伝ったのに，なんで怒られないといけないのか。 黄色「やって良かった」 ・怒られたのは嫌だけど，おばあさんが喜んでくれたから。 ・おばあさんやみんなの役に立てたから。	・教材により浸れるように，教師が登場人物や場面状況を提示しながら，三場面に分けて範読する。 ・T1, T2 範読, T2 資料提示 ・「おばあさんのために」と困っている人のことを思っって行動する, 「わたし」の純粋な気持ちに気付かせる。 ・どちらの考えに近いのか選択させ，タブレットに自分の考えを書かせる。その後，友達と考えを交流し，自分の考えを再構築できるようにする。 ・親切な行為が否定されてやりきれないと思う児童の気持ちに共感しながらも，認めてもらえないと自分のやったことが間違いだったと思ってしまう心の弱さに気付かせる。 ・良かったと思う気持ちがあったとしたらそれはなぜか考えさせる。

		<p>◎校長先生の話聞いた「わたし」はどんなことを思ったでしょう。</p> <p>・校長先生に褒められて嬉しいな。 ・店員さんが分かってくれてよかった。 ・やっぱり良いことって返ってくるんだな。 ・あの時お手伝いをしてよかったな。 ・これからも困っている人がいたら助けたいな。</p>	<p>・校長先生は、なぜ朝会でお話したのかに触れ、周りの人にも温かい気持ちが広がっていることに気付かせる。 ☆親切にして良かったという気持ちに気付くことができる。(ノート・発言)</p>
<p>展開後段 (5分)</p> <p>学習したことを振り返る</p>	<p>3 本時のまとめをする。</p> <p>「親切」とは… 困っている人のために 相手のために考えてする人が見ていなくてもする <u>自分も相手も気持ちいい</u> 親切は広がる 周りにいる人も温かい気持ちになる</p>		<p>・めあてである「もっと」を考えさせる。アンケートでは出ていない(下線部分)親切について気付かせる。</p>
<p>終末 (10分)</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>5 今までの自分を振り返る。</p>	<p>◎今日の学習や今までの生活を振り返って考えたこと、これからは生かしたいことを書きましょう。</p>	<p>・教師の説話により、親切は人の心を温かくし、広がっていくことに気付かせ、親切にしていこうという意欲を持たせる。</p> <p>☆これまでの自分を振り返り、困っている人がいたら進んで親切にしていこうとする意欲をもつことができる。(ノート)</p>

5 板書計画

